

# おち町

議会だより OCHI TOWN

No.91

2010年2月1日発行  
高知県越知町議会



寒さに負けずに“おはようマラソン”

**町民運動場整備など7,372万円を補正** (12月定例会) … 2

高知ファイティングドッグス (FD) を佐川町と支援

**情報ステーションおち** (仮称) **建築契約** (臨時会) …… 5

**産業振興策とソニア問題など** (一般質問) …… 6

**柴尾—佐川町平野間 22年度に改良** (追跡) ……13

**夢をかたちに「夢ハウス」** (議会ですこんにちは) …16

# わが町の球団に 佐川町と 協同支援

【7、9、10月に関連記事】

## 12月補正予算

会計名	補正額	補正後の額	
一般会計	7,372万円	46億4,221万円	
特別会計	国民健康保険	8,599万円	9億0,891万円
	介護保険	2,244万円	9億3,644万円
	後期高齢者医療	70万円	9,924万円
	蚕糸資料館	3万円	21万円

一般会計補正予算は7372万円を追加し、総額を、46億4221万円とする。歳入は、地方交付税を2057万円、県支出金2593万円、町債(借入金)1810万円などを計上。歳出は、高知ファイティングドッグスの練習場として町民総合運動場の整備に4158万円、社会福祉費に972万円、道路橋りょう費に829万円、住宅費に732万円などを計上。

12月定例会は、11日から15日までの会期で行い、一般会計および特別会計補正予算、条例の一部改正など12件を全会一致で可決し、固定資産評価審査委員3人の選任を全会一致で同意しました。また、意見書4件を全会一致で可決し、一般質問は7人が町の行政課題について執行部の考えをただしました。

7,372  
万円を補正  
町民運動場整備に  
4,158万円



若者のエネルギーで社会変革を

### 宮地下へ地デジ対策

444万円

**総務費** 庁舎耐震工費の減額575万円。宮地下への地デジ対策に444万円。高知市在住の大田博志氏、大田美恵氏からの寄付金60万円を「ふるさとづくり基金」へ積み立て。徴税の過誤納付還付金など。

### 予算内容と質疑

**岡林学議員** 宮地地区以外の地デジ対策の予定は。

**大原総務課長** 佐之國、2区、市ヶ谷、筏津、桐見川、遊行寺などが予定されている。来年度以降も国・県の補助があると思う。

**大川信輝議員** 過誤納付還付金の件数と内容は。

**北添税務課長** 固定資産税と軽自動車税が4件、法人税が8件、町民税7件となっている。本年度未までの推計分を計上している。

**藤原住民課長** 厨房をオー

**民生費** コスモス荘改修費300万円。

グループホーム「希望の里」のスプリンクラー設置の補助金365万円。後期高齢者医療と介護保険特別会計への繰入金387万円など。

**大川信輝議員** コスモス荘の改修内容は。

**藤原住民課長** 厨房をオー

**農林水産業費** 林道舗装補修工事等に100万円。有害鳥獣対策に101万円など。

### イノシシ駆除増加

**武智龍議員** 有害鳥獣対策補助金の内容は。

**小田産業建設課長** イノシシの駆除を当初30頭予定していたが、17頭分を増や

す。また、日ノ浦、栗ノ木、深瀬への電気柵の費用。

# 高知ファイティングドッグス

知事立ち会いでホームタウンの協定調印式



2009年度独立リーグ日本一に輝いた高知ファイティングドッグス(FD)が越知・佐川をホームタウンとすることが決定。佐川町は居住施設を提供し、越知町は町民総合運動場を整備して練習場に提供する。

越知・佐川が協同して、一人でも多くの選手が日本プロ野球組織(NPB)入りを果たすよう支援する。

**総合運動場の整備内容**

防球ネット(高さ18m)をライト側に40m、レフト側に30mと85m設置する。

ピッチングマシン1台、バッティングケージ2台、ネット1式(Tネット、防球用、投用手用L型、V字防球用など)、キャリー4台、倉庫を備える。

## 高知FD支援に総合運動場を整備

**教育費** 町民総合運動場の整備費に4158万円。また、体育館などの修繕料、防犯灯設置、火災報知機受信機バッテリー購入。小学校と中学校のAEDバッテリーの購入費など。

### 山橋正男議員

修繕料と防犯灯設置、火災報知機バッテリーの内容は。

### 山中教育次長

修繕料は体育館の誘導灯と揚水ポンプの取り換え。

防犯灯は、市街地から町民運動場までの道路へ1基設置する。

火災報知機バッテリーは古くなったため交換する。

### 西川晃議員

小・中学校以外の施設にあるAEDバッテリーの交換は必要ないか。

### 山中教育次長

保証期間が4年になっており、小学校の1台と中学校校舎と今成グラウンドの2台を交換する。

他の施設も時期が来れば順次交換する。

### 土木費

町道薬師堂深瀬線改良舗装工事ほか道路等修繕工事などに809万円。県道改良工事負担金の減額440万円。小舟団地公園遊具設置工事など。

### 消防費

全国瞬時警報システム(ジェイアラート)の購入費355万円など。

### 斎藤政広議員

小舟団地公園以外の改修計画は。

### 山本環境水道課長

来年度は10区の公園を計画している。

### 岡林学議員

全国瞬時警報システム購入の内容は。

### 大原総務課長

消防庁が本年度末までに全市町村に配備するもので、通信衛星を介して津波警報や緊急地震速報、弾道ミサイル発射情報などを受信するもの。

### 商工費

商工会・観光協会への補助金34万円。情報ステーションおち(仮称)業務委託など。

### 斎藤政広議員

商工会補助金の内容は。

### 小田産業建設課長

イベント広報用自動車を購入するため20万円を補助する。

### 岡林学議員

情報ステーションおち(仮称)の委託内容は。

### 小田産業建設課長

観光協会へ委託して、4月からの駅長に研修を受けてもらう。【5、10、12ページに関連記事】

### 特別会計

#### 斎藤政広議員

国保会計の療養給付費が大変伸びているが、内容は。

#### 藤原住民課長

今年前半の長期入院が前年に比べ、延べ71人から122人に増えたこと、入院費が100万円を超す方が増えている。それにより高額療養費も増えている。

予算内容と質疑

**介護・後期医療保険  
延滞金利率の軽減**

介護・後期高齢者医療の保険料の延滞金の算定利率について、納期限の翌日から3カ月間は14・6%で計算していたが、前年の11月30日に日本銀行が定める基準割引率に4%を加えた割合で計算する。

今年の利率は4・5%となっている。

(22年1月1日施行)  
(賛成・全員)

**町営住宅の入居  
補欠期間を短縮**

町営住宅・若者住宅の入居補欠者について、多くの方が入居機会を得られるようにするため、補欠の資格期間を1年から6カ月に短くする。

(22年1月1日施行)  
(賛成・全員)

**コスモス荘の利用範囲を拡充**

介護予防の重視と介護の進行を遅らせるため、在宅サービスについて、要介護2の方まで利用範囲を広げる。ただし、ヘルパーなどはいないため、自分での回りのことがある程度できる方に限る。

現在、入浴サービスをし  
ていないため、条例から除  
き、浴室を改修して一つの  
部屋とする。  
(21年12月18日施行)  
(賛成・全員)



改修工事が始まったコスモス荘

**意見書**

12月定例会では、4件を全会一致で可決しました。



水力交付金は保育園運営などに充てられている

**水力交付金を  
恒久的制度に  
完全施行を**

**提出者** 斎藤政広議員  
水力発電施設の周辺地域への交付金（水力交付金）は、関係市町村の防火水槽や防災無線等の整備、診療所や保育園の運営費等へ充てられている。しかし、平成22年度末で多くの自治体が交付期限を迎えるため、平成23年度以降も恒久的な制度とすることを求める。

【提出先】総理・財務・総務・経済産業の各大臣

**改正貸金業法の  
完全施行を**

**提出者** 藤原俊夫議員  
平成18年12月に成立した改正貸金業法の完全施行の延期や貸金業者に対する規制の緩和を求める論調が出ている。

この法律を早期に完全施行し、相談体制の拡充やセーフティネット貸付制度を充実させ、ヤミ金融を徹底的に摘発すること。

【提出先】衆参両院議長および総理・金融担当・消費者担当の各大臣

**現行制度による  
保育所の充実**

**提出者** 大川信輝議員  
少子化対策は最重要課題であり、国および地方自治体による保育の拡充は、一刻の猶予も許されない。現行の保育制度を生かし、公的責任による保育事業の推進と予算の増額を図り、公立・民間の保育所を充実させること。

【提出先】総理・厚生労働・総務・財務・少子化担当の各大臣

**国と地方行政の  
体制の拡充を**

**提出者** 寺村晃幸議員  
雇用問題をほしめ、医療・年金・貧困などの社会不安が増大しており、国・地方の行政体制の拡充が求められている。

地方に犠牲を強いる地方分権改革や国の出先機関の統廃合、公務員の定員削減などを行わないこと。

【提出先】衆参両院議長および内閣総理大臣

# 情報ステーションおち (仮称) 新築工事

## 町の農産物販売や情報発信の中心施設として期待

【10、12月に関連記事】

〔10月28日〕 2件を全会一致で可決

〔11月30日〕 3件を全会一致で可決



完成目指して急ピッチ

### ●5386万円で契約

まちの駅「情報ステーションおち」(仮称)新築工事  
・契約金額 5386万5000円  
・契約の相手方 (有)大成システム  
代表取締役 岡林正明

### ●インフルワクチン接種を補正

一般会計は、新型インフルエンザのワクチン接種委託費845万円など、873万円を追加し、総額を45億6849万円とする。

### ●大型テレビを購入

・契約金額 783万3966円  
・契約の相手方 岡村電設 岡村正利  
・型式 三菱液晶デジタルテレビ 52インチ  
・購入台数 幼稚園1台、小学校19台、中学校16台、中央公民館1台。

### 質疑

**武智龍議員** テレビ購入の落札率と取り付け費は含んでいるか。

**大川信輝議員** エコポイントはどうなる。

**山中教育次長** 取り付け費も含まれている。エコポイントには使える方法を検討する。

**大原総務課長** 落札率は61・4%である。



学校のテレビが大きく見やすくなった

### ●職員給与等を減額

職員給与を月額平均0・16%(515円)引き下げる。ただし、若年層は引き下げない。

### ●議員の期末手当を減額

議員の6月期末手当1・4カ月を1・25カ月に、12月期末手当1・6カ月を1・5カ月に引き下げる。  
総額23万8000円の減額となる。

職員期末勤勉手当は0・35カ月引き下げ、特別職の期末手当は0・25カ月引き下げる。  
自宅に係る住居手当は廃止する。  
総額687万円の減額となる。



おかばやし ゆきまさ  
岡林 幸政 議員

**(株)ソニア**

**前専務との契約に疑問**

**解雇後の裁判を避けたい**

／町長

こんな経営をしていた前専務とコンサルタント委託契約をしている。

契約書では、ソニアが取り扱う木材の1立方メートルにつき800円、作業道1メートルにつき50円、造林事業の売上高の6%を支払うことになっており、9月は66万円、10月は81万と多額になっている。この契約がある限り、前専務は仕事をしてもしなくても毎月金が入ることになると思うが、どうしてこんな契約をしたのか。首を切るのか切らないのか。

**吉岡町長**

仕入れと販売先の確保はチェックをしている。その中で、生産コストが販売額より高くなることがあり、前専務には何度も注意をした。

2 交替にして安い製品を大量に作るということで原木を購入したが、思うようにいかず、虫食い材が出たことは、善管注意義務違反になるかもしれない。

前専務は製材や販売には向かないため山専門という

指示をしたが、ソニアに入れるはずの木材をよその木材工場へ入れるなど、困惑したこともあった。

退職を依頼したが「首を切ってくれ」と言われた。解雇すれば裁判になると思うので、専務の職を外して、当面このような形でつなぐ以外にないと思いいコンサルタント契約をした。

契約内容は、他の企業を参考にしたが、月に66万円とか81万円になるとは予測していなかった。11月には作業道が2500メートルにもなっており驚いている。

裁判になるかもしれないが、議会後に前専務と話をして処理する。

**不利な貸付担保**

**再質問**

(株)ソニアから仁淀川森林組合への貸付金が5700万円と4000万円の2口ある。

4000万円の担保を調べたら、山林斜面で39・39坪とあまりにも少ない。分かつて貸したのか。

出資金は町民の税金も含

まれている。ずさんな経営で使い切ったわけだが、どのように考えているのか。このままズルズルと引き延ばして負債が膨れ上がれば、個人で払うつもりか。それとも税金を投入するの

動きや議員協議会によって事情が変わってきており、続行の予感を得たので結論を延ばしている。

**理事の借用証書がある**

**吉岡町長**

貸し付けは、仁淀川森林組合理事が押印した借用証書がある。担保の件は、資料がないので調べさせてもらいたい。

仁淀川町議会は解散の決議をしたが、その後、県の

続行できない場合は、清算となり、資産と負債の差し引きや役員の裏保証の問題もあるが、何とか元に戻したい思いがあり、時間がかかっていることは理解してもらいたい。

**土地開発基金の保管**

**問**

土地開発基金の条例では、金額は1億円で、町長は目的に応じ確実かつ効率的な運用に努め、現金は最も確実な方法で保管するとなっておりが、この定めのとおり保管しているか。

**処理できてない問題**

**吉岡町長**

長い経過の中で処理できてない。善処しなければならぬが、金額的な問題がある。

**「都屋」購入で元本割れ**

**片岡副町長**

「都屋」跡地を購入したとき元本割れして、現在3105万円になっている。不足分は、土地代金と合わせて1億円以上とし、基金条例第5条(注)で運用している。

**土地開発基金条例**

**第5条**

町長は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻し方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳入歳出現金に繰替えて運用することができる。

**問** 平成18年から19年に大量の原木を1立方メートルあたり1万1800円で買っているが、その後、虫食い材を出し、原木の一部を1立方メートルあたり8500円で処分している。

1年間フル稼働して製品化できるものか分からず、販売先も考えないで経営が成り立つはずがない。



経営続行には多くの課題を抱える(株)ソニア

## 加工食品

# お茶や山椒その他の開発は

## 多くの試作品研究と新製品／副町長

**問** 茶の現状と将来性について、産業振興計画に位置付けしている県・農協との協議は進んでいるか。

シヨウガの粉末の試作品もできたと聞くが、山椒やその他の加工食品の開発と販路についての現状はどうなっているか。



さいとう まさひろ 議員  
齋藤 政広

### 小田産業建設課長

現状は非常に厳しく、10年前と比較して生産量は80%余り減り、単価も相当たり400円を割る状況だ。今後は、荒茶出荷から製



製品化した粉山椒や山椒七味など

品茶へとシフトし、農協に中心的な役割を担ってもらう。

昨年からは仁淀川流域茶産地検討委員会や振興協議会を設置し、仁淀川地区のブランド茶やパック茶の開発、販路開拓に努力している。

### 片岡副町長

山椒の加工品（七味・一味等）は、県内外の多くの業者から引き合いがあり、かなりの店舗へ置くようになっていた。また、ブランド化事業のモニタリング調査を活用し、容器の改良もしている。

地域産物の活用は、原料のユズ、ブントンの皮、トウガラシ、ワサビなどの研究を進めている。

新しくは塩山椒や山椒アイスを製品化している。その他、シヨウガの粉末の試作も行っている。

## 組織改革

# 人材登用で町政刷新を 4月に企画課を新設／町長

**問** 町の組織改革について、企画課の設置を提案したが、協議したのか。

新しい人材の登用で組織の活性化と町政の刷新が期待できるのではないかと、今は、県とのつながり、地方からの発案・発信、集

落や主産業の現状、福祉など、多方面から見た政策立案が必要な時期だ。

**吉岡町長** 企画課は、来年4月からスタートしたい。

課長会では、今の財政状況での対応や人員配置、行革大綱の問題などを議論した。

職員を増やすのは難しいが、今の仕事を見直して、人員不足は臨時職員の雇用を考えている。

## 高知FD招致は

**問** 『佐川・越知が高知フアイティングドッグスのホームタウン』との報道があったが、いつホームタウンの表明をしたのか。

受け入れるには、町民に周知し、応援体制の整備も必要と思うが。

## 12月18日に調印

**吉岡町長** 町民運動場を整備する財源問題や使用期間のことが解決できず、住民

への経過説明は極めて不備であった。年が明けたら周知活動を行いたい。

財政面の課題が解決したので、運動場は2月中に整備したい。

12月18日には、県知事を立会人にホームタウンとしての調印式を役場で行う。

## その他の質問

**問** 国民健康保険の広域化は、いつからどのような体制で始めるのか。

**答** 国の高齢者医療改革会議の6項目に入っており、広域化の方向は変わらない。今はそれぞれの国保職員協議会等で検討している。

地産外商

銀座アンテナショップへの出品

山椒の加工品を出す／副町長



議員 藤原 俊夫

問 高知県は「地産外商」の政策で、東京銀座にアンテナショップを出す計画だが、本町はどのような農作物を出す準備をしているか。

片岡副町長 山椒の加工品を出したい。賞味期限の長いものでないといけないと思う。

一次産業に付加価値を付けるため、加工品目の研究をしなければならぬと考える。多くの人に知ってもらうには日数がかかる。



東京には築地と吉祥寺にアンテナショップがある  
写真は吉祥寺駅前通りにある「高知屋」  
銀座出店による影響は…

林業振興

ソニア存廃と林業支援

やり方で可能性はある／町長

今後国は、山元を中心に支援事業をするという。また、地方は森林環境税の創設を申し込んでいる。(株)ソニアは、高吾北地区の大きな産業として、やり方と世の中の変動によって生きていく可能性が十分あり、何としても儲けが出る会社になりたいと思つていて。3町議会の理解を得て続けたい。

小田産業建設課長 良質

問 幹線林道の開設や森林施業計画に合わせた林道・作業道の整備は進んでいると思うが、保育、間伐、枝打ち等はあまり進んでいないようだ。

これらの支援はどのようなになっているか。

また、(株)ソニアは規模を縮小して続けるか。それともやめるのか。

吉岡町長

山の手入れが進まないのは、木材の安値にあると思う。所有者が町外の方も多く、地元の人に頼まなくなつたこともある。

22年度の税収は

不況が続く、労働者の仕事も減っている。農産物も安値で所得も少なくなり、喫煙者も減っている。21年度の当初予算は36億4535万円であったが、平成22年度の地方交付税、町税の見直しは。

町税は約10%減

北添税務課長

国の税制改革は2月中旬ごろに答申がある。近年の経済状況の悪化と退職者の増加で給与所得の落ち込みも見込まれる。個人住民税、法人税は、本年度当初予算からマイナ

税、軽自動車税は同額。たばこ税は多少値上がりしても10%程度の減少となり、総額で2000万円程度の減収と見込んでいる。

地方交付税は不透明

大原総務課長

地方交付税は、ガソリンなどの暫定

その他の質問

問 本町の人口推移と小中学生の人数は。

答 人口は、毎年100人以上減っている。児童・生徒数も減っており、厳しい状況だ。



越知道路

一向に始まる気配がない

22年度は1億円の予算案／町長



おおかわ のぶき 議員  
大川 信輝



完成が待たれる高知西バイパス

**問** 越知道路は1キロ区間が開通して安全快適な通行ができるようになったが、まだ、異常気象時の通行規制は解消されていない。  
残り3キロの早期完成が望まれているが、一向に始まる気配がない。  
鳩山政権になって、道路

**吉岡町長** 越知道路は平成19年に国交省と県の協議で平成20年代半ば完成予定であったが、少し遅れると思う。ただ、国交省四国地方整備局のホームページには、平成22年度は調査推進・調査設計に1億円が予定されており、少し動きだしたと

思っている。  
高知西バイパスは、平成25年前後と聞いていたが、今は何とも答えられない。  
要望の取り組みは、今後は各県へ来ることはやめて、民主党県連を通して来るようにと言われたので、そのようにするしかないと思っている。

高知FDとの長期協定を

事業などの陳情の形態も変わったようだが、どのようになっても危険な道路は早急に改良しなくてはならない。どう取り組むのか。  
高知西バイパスは仁淀川に橋が架かり、工事が進んでいるが、完成時期は。

**問** 高知ファイティングドッグスとの協定は、グラウンド整備に多額の費用を使うのだから、5年間くらいの期限を付けてはどうか。また、市民のスポーツに支障はないか。

続くことを願う

整備局のホームページには、平成22年度は調査推進・調査設計に1億円が予定されており、少し動きだしたと

**吉岡町長** 協定書には、高知ファイティングドッグスは佐川町および越知町をホームタウンとし、地域の活性化に取り組み。  
佐川町および越知町はわ

政権交代

予算凍結の影響は

子育て応援特別手当が廃止／副町長

が町の球団として真の県民球団となるための支援を行う」となっており、期間は示していないが、続けていくことだ。  
町民のスポーツは、関係者と協議した結果、支障はないとのことだ。

**問** 長期にわたる経済危機のため、平成21年度予算は、大型補正で対応したが、政権交代で予算の凍結や見直しにより、予定した事業ができなくなっている。  
特に地方は先行きが見えず混乱している。  
町の財政および経済への影響をどのように考え対応するのか。また、本町で廃止された工事はないか。

清水ため池は地域農業のかなめ



清水ため池は地域農業のかなめ

**片岡副町長** 本町の影響は、子育て応援特別手当560万円の廃止とプロロードバンド化の予算が縮小された。また、柴尾の取水ポンプと清水のため池は、国の補助を県が肩代わりして実施する。

大きな問題は、地方交付税の原資である消費税、法人税などが景気低迷により32%くらいの穴が開いている。一時補正をこれに充てると思うが、年明けの通常国会後でなければ分からない。

その他の質問

**問** 役場前のT字路にカーブミラーを

**答** 早急に設置する。

**問** 女川町営住宅は測量調査したと聞くが、どのように処分するか。

**答** 耐用年数30年を過ぎた住宅は、個別譲渡を進めるが、できない場合は退去する必要がある。居住者が優先する。

**問** 林道京塚五台山線の法面工事が1カ所になったのはなぜか。

**答** 県の割り当てが減ったため。



たけち りゅう 議員  
武智 龍

情報ステーションおち(仮称)

(株)ソニアの木材使用は

仕様書に入れなかったのは  
うかつだった/町長

**問** 産業振興計画の進捗状況と情報ステーションおち(仮称)の建築に(株)ソニアの木材をどれくらい使ったのか。また、契約の仕様書には入れていたのか。

**小田産業建設課長** 茶は、製品茶の品質向上、番茶を利用した製品開発、ネット

販売に取り組んでいる。薬用作物の産地拡大のため、1・2畝の農地を確保し、ミシマサイコは水田での植栽の研究をしている。

J A越知支所の生姜の予冷庫は1月に入札を行う。森林施業は間伐、造林、下刈りなど96畝を実施。ジオパークは関係各町で住民の意識を高めるため説明会をしており、本町は12月9日に行った。

体験観光の体制とメニュー作りは、各町村の洗い出しと地域の活動状況の把握などを行った。

情報ステーションおち(仮称)の建築仕様書には「県産材を使う」とあるが、(株)ソニアの木材は使っていない。工期内完成を目指して順調に進んでいる。

**吉岡町長** 仕様書に入れなかったのはうかつだった。ソニアの木材を使いたかったのでショックだ。

子育ての学習を

**問** 乳幼児期の親や親になる前の人たちへ、子育ての情報提供や学習を充実するべきではないか。

幼稚園は、小・中学校や保育園から離れており、教育施設の集中化を図る考えはないか。

保護者講演会や  
中学生の触れ合い学習

**西森教育長**

保護者を対象にした講演会やPTA連合会・保育園・幼稚園などと有意義な学習機会を作っている。

中学生の乳幼児との触れ合いも行っており、成人式では子育ての話や冊子を贈ることを考えている。

教育施設の集中化の考えは良いが、場所や財政の問題もあり、すぐには困難だ。



触れ合い学習で命の大切さを学ぶ

重点施策

山積する課題解決は

「まちの駅」の発展/町長

**問**

平成22年度の重点施策と人口減少が各課に及ぼす課題点と取り組みは。

また、山積する課題解決のため、企画課が必要と思うが、置くことはできないか。

**吉岡町長**

重点施策は、県の産業振興計画を進める中で、基幹産業である農業の振興を図り、「まちの駅」情報ステーションおち(仮称)の発展と(株)ソニアを再建させたい。また、高知ファイティングドッグスを高吾北地域の発展に貢献させたい。

企画課は任期中に設置する。

**大原総務課長**

地方交付税は人口ベースで算定されるため、人口減は財政上、一番大きな問題だ。国勢調査や農林業センサ

スなどの調査員、自主防災組織作りや選挙の投票立会人などに影響する。

**藤原住民課長**

独居老人や老々世帯、要介護の方が増えており、地域包括支援センターでの相談や民生委員の協力で実施した実態調査を関係機関が共有して支援につなげたい。

**小田産業建設課長**

生コン支給による舗装や道路、側溝などの維持管理に影響する。そのため、有利な補助制度の活用により永年作物の栽培や集落間道路の整備、作業道の開設などを行っている。

国土調査は高齢化が進んでいる地区から行っている。

次のページ上段へ続く

**西森教育長**

「児童・生徒が減ると先生の数にも影響する。中学校では、1クラス減れば先生が2人減り、クラブ活動にも影響する。現在、県の定数は1クラス35人と緩くなっているが、国の基準は40人となっており苦慮している。」

**その他の質問**

**問** イノシシ被害が多発している。ハンターを育成できないか。

**答** 費用や手続きなどで難しい。電気柵の補助などで対応している。

**河川行政**

**坂折川のヨシの除去**

**管理者の県に要望／産業建設課長**

**問** 坂折川は昭和50年、51年と連続の被害を受け、

きれいに改修されたが、近年、ヨシが異常繁殖して、ひどいところでは川の大半を覆い尽くしている。特に遊行寺橋から下流が著しい。

佐川町の柳瀬川では除去されているが、坂折川ではできないか。

**小田産業建設課長**

県の管理河川だが、同じ県管理の柳瀬川は除去されているので、問い合わせを要望する。

また、ダム対策審議会でも提言をしてもらいたい。



議員 寺村 幸晃



ヨシが繁殖して川面はほとんど見えない

**危険建物**

**「老若荘」の取り壊し**

**老人クラブと話し合う／住民課長**

**問** 文殊様駐車場奥に廃屋同然の建物「老若荘」がある。

景観上好ましく取れないが取り壊せないか。

3月議会では、調べて関係者の了解を得れば壊したいとのことであったが、その後どうなっているか。

**藤原住民課長**

調査したら、昭和48年9月に老人クラブ連合会に「老人憩いの家建設助成金」が支出されている。

老人クラブが使用していた形跡もあるので取り壊し申請を出してもらって対応したい。

**次期町長選は**

**問** 平成10年に就任以来、

財政の健全化、住民福祉の向上などに努め、その行政手腕は高く評価されている。

現在は、高吾北広域事務組合長や高知県町村会長として激務をこなしているが、残り任期も4カ月となった。

次期町長選に出馬の意思はあるか。

**後継者が駄目なら挑戦**

**吉岡町長**

3期目の当選のとき「町長は3期まで」との考えであったが、今投げ出せば無責任となるほど町政の課題が山積している。

後継候補を擁立できなければ、支持者の理解を得て、再度挑戦したい。

情報ステーションおち

町の玄関と認識せよ

近隣の行事も分かる施設に／町長



おかぼやし まなぶ 議員 岡林 学

**問** 来年には、情報発信と地場産品販売の施設ができるが、特色ある産物を安定して確保しなければならない。

この施設は、まちの玄関であると認識して、町民の理解と協力により有効に使わなければならない。  
建設のための財源内訳と運営方法、管理費は。

小田産業建設課長

総事

業費は8557万円で、内訳は、宝くじ助成事業が2001万円、県産業振興補助金が3297万円。あとは、他の事業との兼ね合いもあるが、地域活性化経済

危機対策事業補助金を充てる計画であり、町費を入れる予定はない。借入金もない。

完成は2月26日を予定している。

基本的には公設民営で、土地、建物は町の管理で、保険や修繕費は町で予算化する。

光熱水費は、指定管理者が負担する部分と公衆トイレやバスの待合所は町と指定管理者が協定書で明らかにする。

吉岡町長

越知だけの情報窓口ではなく、近隣の行事も分かるようにしたい。  
スタート時のキャンペーンが大事と考えている。

球団招致

報道先行で盛り上がりがない

子供たちに夢を持たせる／教育次長

**問** 「佐川・越知がホームタウン」という球団招致の報道が先行している。

おちスポーツクラブとの話し合いも12月2日であった。各クラブの代表者は、練習や大会のない日は問題ないと理解したが、住民との話し合いや地域の盛り上がりがない。

招致事業費に7120万円の計画で、1年目は約4160万円の予算案だが、財源は。

また、マウンドを新しくして少年野球やサッカーに支障はないか。

山中教育次長

財源は、

過疎債（借金返済のうち70%が交付税として町に戻る）が1860万円。県の地域づくり支援補助金が約1864万円。町費は約434万円だが、特別交付税を要望して極力抑えたい。

マウンド整備は、今より安全で使いやすくなる。サッカーは南側に1面とれるのが問題はない。

招致により、少年野球の指導や選手育成などで子供

たちに夢を持たせ、球団応援による生きがいづくりや地域イベントへ参加することで賑わいも生まれる。

高吾北地域の活性化にもなる。

吉岡町長

知事も県民の球団として力を入れるとの強い意志があり、補助が付くことになった。

1年目はバッティングセンターでの打撃練習であり試合はしない。2年目は試合ができるようにしたいが、1年目を見てからになる。



役場ロビーに掲げられた2009年度四国・九州アイランドリーグチャンピオンフラッグと独立リーグ日本一の優勝カップ

家庭学習の対処は

**問** 児童の生活実態調査では、テレビゲームに熱中して家庭学習ができていないなどの問題がある。

調査内容からどのような対処を考えているか。

学習の手引書を配る

山中教育次長

小学校の家庭学習の時間は全国レベルより上だが、テストの結果はかなり低い。

教師が他校を視察し、授業の改善に取り組んでいる。また、テレビを見ない日を決めているが、落ち着いた環境の中で学習しているとはいえない状況である。

早寝、早起き、朝ごはんの生活リズムづくりとゲームの時間制限も重要であり、家庭学習の手引書を作って配るよう準備をしている。

宿題の出し方も考える必要がある。

中学校は、家庭学習の時間は少ないがテストは全国、県の水準である。

## 柴尾―女川間の県道改良を (平成19年9月議会)

**藤原俊夫議員** 県道柳瀬越知線の柴尾から女川までが改良されていないが、県に要請できないか。

### 計画なく着手は困難

**吉岡町長** 県議会の企画建設委員会では、現時点の計画はなく着手は困難とのことだ。引き続き要望していくとのことだ。

### 処理状況

## 22年度に改良

### 柴尾一本杉―佐川町平野

佐川町側は2車線に改良され越知町側は未改良だったが、平成22年度に柴尾の一本杉付近から佐川町平野の境界までの改良が決まった。すでに用地買収も終わっており、早期着工と引き続き女川までの改良を期待する。



改良工事が決まった柴尾地区



越知町側は未改良

## 広域議会

定例会(11月30日)

### 諸般報告

▼介護職と他の業種との賃金格差を改善するため、全額国費で都道府県が基金を設置し、介護職員処遇改善交付金を設ける。

介護事業者からの申請に基づき介護報酬とは別に国保連合会から交付される。当事務組合では、22年度から受給を予定している。

▼新型インフルエンザは、11月16―22日の定点医療機関から1910人の報告。職員に数名の感染者が出たが、入居者の集団発生はない。

▼火葬場(高吾苑)の駐車場工事は、織田建設(有)と1328万2500円で契約し、3月には完成する。

### 組合議長の選挙

▼藤原健祐氏(佐川町)と藤原俊夫氏(越知町)が同数。くじ引きで藤原健祐氏が当選。

### 条例改正(要旨)

▼職員の給料月額を平均0.16%引き下げ、12月期末勤怠手当を0.175カ月引き下げる。

▼介護職員の処遇改善のため22年4月1日から月額1万1000以内を支給。  
▼議決を得た工事請負契約で500万円以内の増減は組合長の専決事項とする。

### 監査委員の選任

▼永田耕朗氏(佐川町)

### 平成21年度補正予算 (単位:万円)

会計名	補正額	総額	
一般会計	30	8億8591	
特別会計	特別養護老人ホーム	1794	12億5878
	養護老人ホーム	△28	1億2007
	知的障害者更生施設	178	1億6474

# 幼・小・中・家庭の連携で学力向上を

総務教育常任委員会6人(委員長 武智龍)は、11月16日に町内教育施設を視察調査しました。



中学校校長から教育方針を聞く

## 中学校 生徒数の減少が課題

「学びの共同体」の研究で分かる授業に努め、ほめて認めることで、やる気を持たせている。

3年生の国語は全国レベルで、数学は県内では高位置にある。

生徒数が減り、クラブ部員の貸し借りや他校との合同練習を行っている。22年度新入生が1クラスになると、教員数やクラブ数にも影響する。

卒業して町外へ出ても、鮭が生まれた川に帰るように、帰郷して越知の将来を担ってもらえるように地域を愛する学習に力を入れている。

文化祭が、町と同日開催のため、生徒が作品づくりや展示に苦労している。

## 小学校 家庭学習が弱い

テレビゲームに熱中して宿題をやらないなど、家庭学習ができない子供が多く、学力テストは全国平均より悪い。

子供が自主的に学び、授業が楽しくなる工夫や家族の理解や協力でしっかりとした家庭学習の習得を図っているが、良い結果が出ていない。

総合学習は、町内の自然環境や農業への関心を持たせている。  
登下校の危機管理の認識と安全対策の再考をする必要がある。



幼稚園は家庭と連携して生活習慣を身に付ける

## 幼稚園 基本的な生活習慣を

共同生活でのコミュニケーション能力や自分で考え行動する子供の育成に取り組んでいる。

箸が使えない。オムツが取れない。登園が遅いなどの子供が増えており、家庭と連携して基本的な生活習慣を身に付けさせている。

小学校長と園長の兼務は、園児と触れ合う時間が少ない弊害がある。

職員室から玄関が見える対策が必要だ。

## 総括 将来担う人材育成を

幼稚園から小・中学校まで連携して学力向上と家庭学習の充実を図り、特色ある子供を育て、町の将来を担う人材育成が必要だ。  
新型インフルエンザの予防対策が急がれる。

# 政権交代で事業存続に不安

産業建設常任委員会6人(委員長 齋藤政広)は、11月6日に町内の建設工事等を視察調査しました。

## 桐ノ峠取水堰 地元民に好評

目詰まりができない特殊なスクリーンを備え、水源地の維持管理の労力が軽減され、地元住民にも大変好評だ。他の地域にも広がることを望む。



地域に好評の桐ノ峠取水堰

## 町道篠津線 栗ノ木への早期接続を

篠津から栗ノ木方面への最初のヘアピンカーブまでは事業認可を得ているが、そこから先の事業認可と用地交渉は未定である。また、政権交代による事業の存続

も心配される。積極的に情報収集を行い、事業の継続を図り、町道今成深瀬線までの早期接続を期待する。

## 横倉の残土処理場 7万㎡の盛土が可能

面積が約3万2000平方メートル、盛土は約7万立方メートルが可能で、懸案の残土処理場が確保できた。

ただし、残土運搬の大型車の通行が、観光客や住民の通行に支障を与えない対応と伐採した木材や盛土後の土地の有効利用を望む。



町が購入した横倉の残土処理場を視察

## 林道白石横倉線 法面の落石対策を

白石から横倉の桜ヶ奈路まで、延長1250メートル、総事業費2億5000万円の計画で、本年度は200メートルを施行中で平成24年度完成を目指している。

山側法面はほとんど構造物がなく落石対策が必要である。また、路面水の流末処理や舗装工事も検討すべきだ。



みんなの協力で  
ダム湖の景観を維持

## 桐見ダム周辺管理 県の対応に問題あり

地域住民や役場職員が手入れた所は、非常に良く整備されていた。しかし、県の協力はなかったとのことで、ダム対策審議会等に対応を強く求めるべきだ。

議会です  
こんにちは

# 夢をかたちに「夢ハウス」



天然記念物も  
愛らしいフィギアに



いらっしゃい！と笑顔で迎えていただきました



「みたけせんべい」や「みたけぶどう」「安徳・平安飴」「山椒七味」などの  
ほか懐かしいお菓子が並ぶ



昔菓子と趣味の店『夢ハウス』（6区）の横川正安さんにお話を伺いました。

横川さんは、「次第に町が寂れてきたことで、何とか町並みを元気づけてお客さんを楽しめる店を」と考え、自分たちが幼いころの駄菓子屋をイメージして10年前からこの店を始めました。

「特産品はその土地の材料と物語を秘めていなければならぬ」と強調し、横倉山や平家伝説、天然記念物のオオサンショウウオ、町特産の山椒などを生かした「せんべいやノド飴」、牧野富太郎博士命名の絶滅したヨコグラブドウをヒントにした干しブドウの「みたけぶどう」などを商品化しています。

また、インターネットでは、全国の地方新聞社が厳選してお取り寄せサイト『47クラブ』にも登録して、商品だけでなく、平家伝説や越知町の紹介も載せ、町の知名度アップに努めています。



不況の時こそ常に明るく夢を持っていたいと語る

「二つの商品がヒットする（知つてもらう）」には大変な苦勞と手間とアイデアと時間がある」とのこと。このことは商品だけでなく町づくりにも通じることだと思われました。

商品は、町内飲食店やコンビニにも置くようになり、今の望みは、せんべいを焼く機械を自前で構えたいとのことでした。

「商店街が寂れて『産市』も国道沿いに移る。これ以上空き家が増えることはつらい」と述べられ、さらに、「町の拠点は『まちの駅』で良いが、そこから商店街への流れを作ること、自分たちのような店が増えて町が元気になることが夢だ」と熱く語られました。

また、「閉めた店でも歴史的な立派な建物がある。何とか残して次の時代へつなげるようなことを考えてほしい」との宿題もいただきました。

12月定例会の傍聴者は4人でした。

次の定例会は3月です。多くの方の傍聴をお願いします。

## 編集後記

横倉山はなんと多彩な山だろう。日本最古の化石、植物の宝庫、平家伝説や安徳天皇潜幸伝説等々。800年以上前からの山岳信仰や平家伝説で人の手が入らず原生林として守られてきた。

植物調査では、高知県全体の約3分の1を占める1300種が横倉山とその周辺で見ることができ。横倉山をタイプとする植物が35種、うち牧野富太郎博士の命名は32種に及ぶ。ここでしか観察できない植物もあり、大切に見守ってきたい。

樹木では、幹周り3m以上を巨木と言うが、横倉山にはスギ、アカガシ、モミなど243本が確認されている。

近隣町村とジオパークの認定を目指した取り組みも始まった。昔も今も奥深い偉大な山だ。《齋藤》

編集・発行責任者

議長 片岡 清則

議会広報調査特別委員会

委員長 西川 晃

副委員長 岡林 学

委員 片岡 久一郎

委員 斎藤 政広

委員 武智 龍

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。